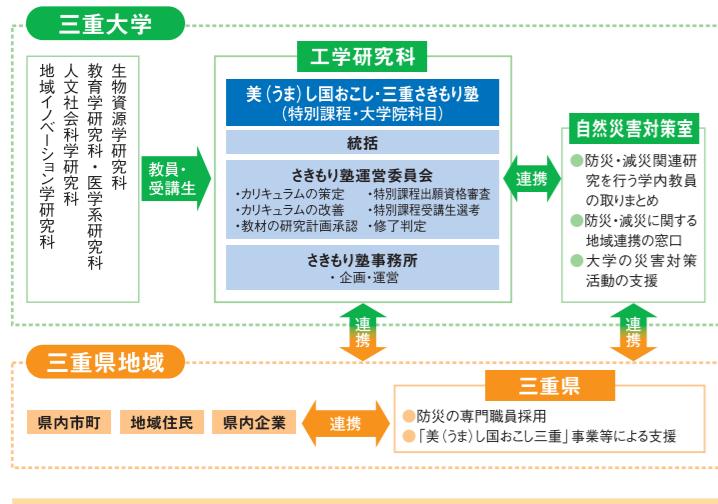


大学と三重県地域の連携で防災人を養成

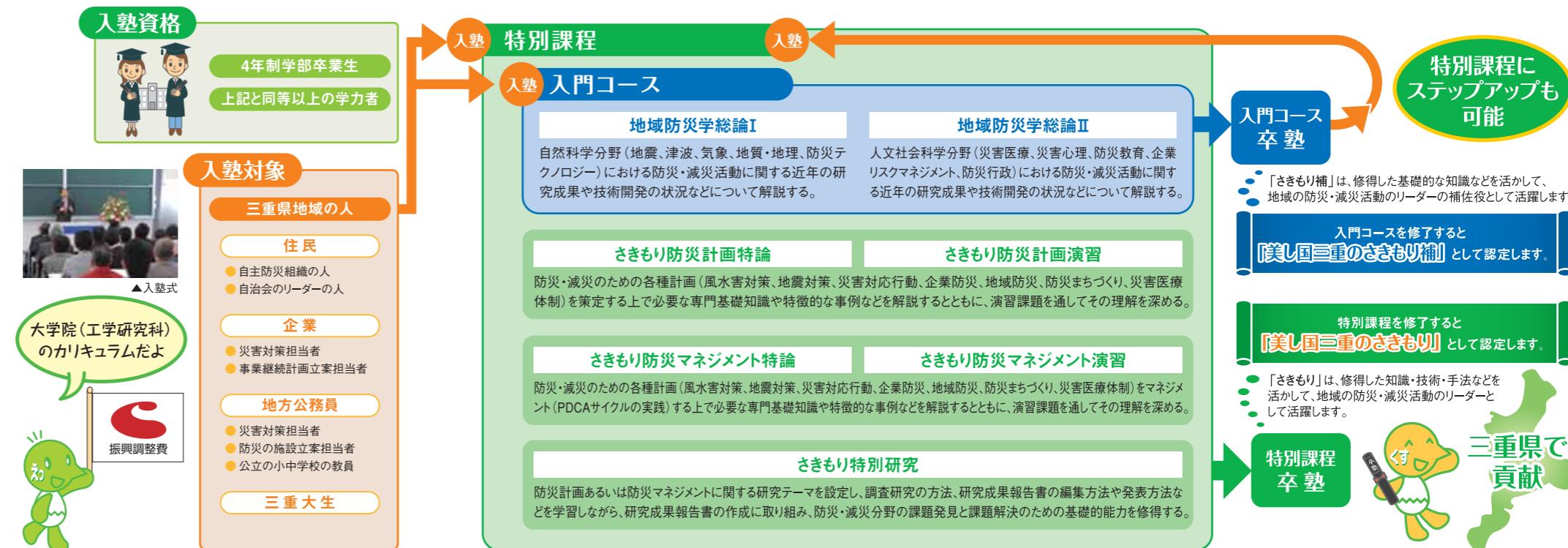
「美し国おこし・三重さきもり塾」では、三重県地域で発生する自然災害に備え、地域の防災・減災活動を率先して担うことのできる人材の養成を第一の目的としています。そのため、三重大学のスタッフが中心となり、三重県、市町、企業、NPO、県民、各研究機関などと連携協力して人づくりを行います。またさきもり塾は、防災・減災という共通の目的を持つ様々な地域や立場の塾生の皆さんに出会いの場を提供します。



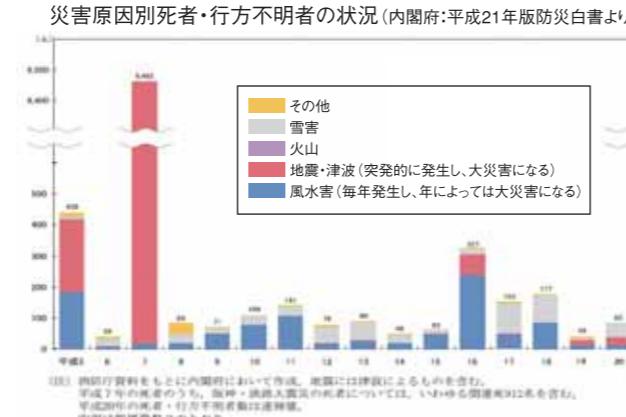
実施体勢



入塾・カリキュラム紹介



災害



防災・減災活動



塾生募集中
お問い合わせは 059-231-9861
さきもり塾事務局まで



さきもり塾スタッフ紹介

- 畠中重光（塾長・副学長）
- 浅野 聰（副塾長）
- 平林典久（特任助教）
- 亀山裕美子（産学連携コーディネーター）
- 松岡康夫（産学連携コーディネーター）
- 中村 忍（事務補佐員）

「美し国おこし・三重のさきもり塾」は、全国的に先駆けて、主に社会人を対象にして、大学院に設置した防災・減災分野を専門とするユニークな特別課程です。「まちづくりは人づくり」とよくいわれますが、近い将来、必ず発生する東海・東南海・南海地震といった巨大災害に備えて、災害に強いまちをつくるための人材づくりはとても大切です。現在、さきもり塾の第一期生として66名（特別課程生19名・入門コース生47名）が入塾し、熱心に学んでいます。あなたも入塾して、大切な故郷、家族、友人を自然災害から守ることを学びませんか。

浅野 聰

三重大学大学院工学研究科・准教授
(美し国おこし・三重さきもり塾 副塾長)